



森林・林業体験活動支援事業は、「ひろしまの森づくり県民税」の財源を活用して、市民団体等が、社会貢献活動として行う森林環境教育の推進を目的とした森林・林業体験活動を支援する制度です。

この制度では、当該年度内に本市域内で市民団体や企業等が、自然観察会、林業体験（植樹、下刈、枝打ち、間伐、炭焼き、しいたけ栽培等）、野鳥観察会など野外において環境教育を目的とした森林・林業の実体験を参加者に提供する活動を実施するために必要な経費（人件費、飲食費及び会の運営経費を除く。）が助成の対象となります。

助成額は、1団体当たり1年間で上限15万円（補助率：1/2以内、但し、傷害保険料と原材料費のみの申請の場合は10/10以内）です。

平成22年度は、4団体がこの助成金を活用し、198名の参加を得て4回の活動を実施しました。

平成22年度実施状況

団体名	活動目的（活動内容）	助成内容	参加人数
打尾山野クラブ	しいたけ栽培の体験学習を通して、里山林整備の必要性を人と森との関わりについての認識を深め、森林保全に対する意識の醸成を図る。 ■ しいたけ栽培体験学習	活動に必要な道具の購入等に要する経費 事業費：292,300円 助成額：146,150円	11名 (1回)
里山の自然を愛する会	安佐北区落合町の里山において森林の持つ公益的機能プログラムを実践し、次世代を担う子供たちに、森林の大切さや林業の重要性についての知識を深めてもらう。 ■ 里山の整備活動、植樹活動	植樹に必要な苗木の購入に要する経費 事業費：150,000円 助成額：150,000円	60名 (1回)
湯来ふるさと探検隊	楽しみながら身近な里山林の手入れを行うことにより、竹林の育成と竹炭の効用を体験し自然の大切さを認識してもらう。森林に関心を持つことにより、県民自らの森づくりの契機とする。 ■ 竹炭小屋・窯の建設、炭焼き体験	小屋・炭窯の設置に必要な原材料の購入等に要する経費 事業費：21,490円 助成額：21,490円	18名 (1回)
温品おやじ苦楽部	ヒノキ丸太切りによる、材木に触る、切る等の体験を通して材木を切るコツや切る楽しさを知るとともに、森林や自然環境の大切さを考える。 ■ 小学校での丸太切り体験	丸太切り体験に必要なヒノキ丸太の購入に要する経費 事業費：75,600円 助成額：75,600円	109名 (1回)
計		事業費：539,390円 助成額：393,240円	198名 (4回)

平成22年度 森林・林業体験活動支援事業 実施箇所

